

令和2年度の重点課題

- ・運動を好まない児童の増加や外遊びが充実しないという課題から、休憩時間にも一定の運動量が確保できるよう、楽しみながら運動につながる遊びを教員が紹介していく必要がある。
- ・握力や50m走、長座体前屈の記録が令和元年度広島県平均値と平成30年度全国平均値を下回っている学年が多いという課題を意識し、体育の授業改善と児童自身が体力を高めることの必要性を理解し、個々の目標を定めて、「握力」と「走力」と「柔軟性」を高めていく必要がある。
- ・早寝ができていないという児童が約7割という実態から、睡眠の大切さを児童や保護者に引き続き啓発していく必要がある。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

- ① 運動の習慣化
 - ・体育朝会での取組を休憩時間や家庭でも継続して行えるように体力向上に向けた多様な運動の取組を工夫したり、啓発活動を適宜行ったりすることで、運動の習慣化を図った。
 - ・ロング昼休憩で遊べる遊びや、新体力テストに向けての動き作りなどを掲示板を活用して紹介し、児童の遊びの種類が増えるようにした。
 - ・家庭でも取り組める体力を高める運動を、委員会等で発信した。
- ② 授業改善
 - ・教具・教材を整え、授業のアイデアを教員間で共有できるようにした。
 - ・授業の中での運動量を確保するために、握力・走力の向上を意識したサーキットトレーニングを準備運動等で取り入れた。
- ③ 十分な睡眠についての啓発
 - ・全校で参観・懇談会で生活リズムカレンダーの集計結果を話題にし、十分な睡眠時間の確保や質の良い睡眠をとることを呼びかけた。また、保健だよりでも結果を視覚化したものを提示した。
- ④ 健康な体づくりへの取組
 - ・保健だよりに、体力づくりの基礎となる健康な体づくりに必要な食事・運動・休養・睡眠を家庭にも呼びかけた。学期に一回の生活リズムカレンダー（早寝・早起き・アウトメディア）を実施するとともに、「生活リズム」を整えるための取組を学級担任と家庭で連携して取り組んだ。

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和元年度)・全国平均値(令和元年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.29	20.21	37.67	46.52	46.73	9.32	158.59	23.61	56.33	第5学年	15.09	20.40	44.66	44.97	37.35	10.14	148.71	13.66	57.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.29	20.21	37.67	46.52	46.73	9.32	158.59	23.61	56.33	第5学年	15.09	20.40	44.66	44.97	37.35	10.14	148.71	13.66	57.00

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	64.71	20.59	8.82	5.88	第5学年	65.71	31.43	0.00	2.86

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第1学年	71.1	11	5.7	9.6	第1学年	70.4	15.9	0	9
第2学年	53.6	39	2.4	0	第2学年	64.1	30.7	2.5	2.5
第3学年	82	12.8	2.5	2.5	第3学年	51.2	39	2.4	0
第4学年	79.1	10.4	9.7	2	第4学年	52.7	36.5	5.4	5.4
第5学年	64.7	20.6	8.8	5.9	第5学年	65.7	31.4	0	2.8
第6学年	60.7	21.4	8.9	8.9	第6学年	45	32.5	15	5

重点課題

情意面での課題

- 男子
 - ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が14.7%である。
 - ・学年が上がるにつれ、ややきらい、きらいと答える児童が増加傾向にある。
- 女子
 - ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が2.86%である。
 - ・運動やスポーツをする児童や、休憩時間等に進んで外に出る児童は少ない。

体力面での課題

- 男子
 - ・「握力」、「上体起こし」、「20mシャトルラン」、「50m走」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子
 - ・「握力」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「立ち幅跳び」「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 全体
 - ・1日の活動時間が30分未満の児童が21.4%である。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 年間を通して、準備運動の中に運動に沿った準備運動やサーキットトレーニングを取り入れる。
- ・器械運動→川渡り、ゆりかご、ボール運びなど
- ・ボール運動→タール降り、的当てゲームなど
- どの児童でも楽しんで参加できる運動を取り入れ、楽しく活動する素地を作る。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・学校行事として「持久走記録会」を開催する。前年度の記録をポートフォリオし、自分の成長を実感させ、運動に対して意欲的に取り組めるようにする。その際、保護者との連携を図る。
- ・学年ごとにレベルを設定した「縄跳び検定」を実施する。
- ・近隣の高校の陸上部と連携し、「走り方教室」を年に2~3回を目安に開催する。
- ・月に1回、ロング昼休憩をおこない、遊ぶ種目を絞って「走る・跳ぶ運動」や「ボール運動」をする場面を設定する。

令和4年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることが好き、やや好きと答える児童の割合を男子女子ともに90%以上にする。
- 1日の活動時間が30分未満の児童を10%以下にする。
- 「握力」、「20mシャトルラン」、「50m走」を県平均値かつ全国平均値以上にする。